

# 正法寺の七不思議

正法寺には、いにしえから「七不思議」が伝えられています。七不思議とは、どんなものなのか、その謎に迫ります。

## 1【飛竜觀音】

別名「雨乞觀音」と呼ばれています。曹洞宗の禅僧であり、高名な画人でもある雪村（雪舟の弟子）の作と伝えられています。この觀音像に祈るとどんな日照りの年であってもたちまち雨が降ったといわれています。

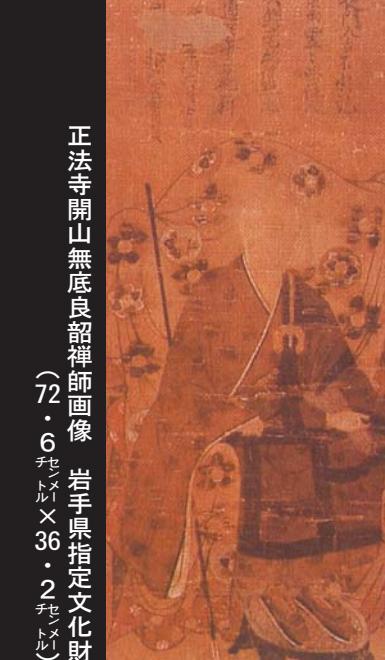


仏殿本尊 釈迦三尊坐像



本尊 如意輪觀世音菩薩坐像  
岩手県指定文化財（像高48センチメートル）

正法寺開山無底良韶禪師画像 岩手県指定文化財



72・6センチメートル×36・2センチメートル



昭和50年代の正法寺。手前が庫裏、奥は本堂

## 曹洞宗本寺

2年、無底良韶は師の峨山紹

から傳法を受け、日本曹洞宗

の開祖道元禅師が中国から持ち

た曹洞宗重宝の袈裟、「僧伽梨」

を授けられています。このこと

は峨山門派を無底良韶が継承す

ることを示し、正法寺を開いた

ことから「出羽奥州両国

の開基」として正法寺は知られる

ことになります。

2年後の觀応元（1350）年

に崇光天皇から「出羽奥州両国

の開基」として正法寺を開いた

ことになります。

このことを示すために、峨山紹

が正法寺を開いたことを示す

ことになります。

このことを示すために、峨山紹

が正法寺を開いたことを示す